富士ゼロックス
DocuPrint CG835 Ⅱ リリースノート

2006年2月1日

このたびは、DocuPrint CG835 Ⅱをご利用いただき、まことにありがとうございます。
本書では、『DocuPrint CG835 Ⅱ取扱説明書（導入編）』、『DocuPrint CG835 Ⅱ取扱説明書（サーバー編）』（電子マニュアル）、および『DocuPrint CG835 取扱説明書（プリンター編）』に記載されていない情報や、本バージョンでのその他の一般情報について説明しています。
DocuPrint CG835 Ⅱをご利用になる前に、上記の取扱説明書と合わせて、ここで説明している情報をお読みください。

本書の内容は、次のとおりです。

1 お使いになる前に

- Print Server Service本体に、他のアプリケーションをインストールした場合の動作は保証していません。「セキュリティー対策に関する補足情報」に記載されている、ウイルス対策ソフトウエアについては、動作を確認済みです。

- 本体に同梱されている、各種インストールメディアは再発行できません。紛失しないよう、ご注意ください。

2 追加補足情報

2-1 Print Server Service本体

- ご購入後はじめて、Print Server Service本体を立ち上げてServerManagerを起動したとき、管理者パスワードを入力するウィンドウが表示されますが、このウィンドウがServerManagerウィンドウの後ろに隠れてしまう場合があります。その場合は、Windowsのタスクバーに表示されているアプリケーションのボタンをクリックして、ウィンドウを切り替えてください。

◆ 用紙トレイから複数の用紙が同時に引き込まれることが原因で、用紙が詰まった場合、Print Server Service はエラーメッセージを表示します。この場合、ジョブはエラーで終了し、自動的に再プリントしません。
出力されたページを、出力枚数またはプリント履歴で確認し、ジョブ編集でページ範囲を指定して、再プリントしてください。

◆ NetWareClient を Print Server Service にインストールする場合は、Fuji Xerox Print Server Service を停止してください。また、NetWareClient のインストール終了後は、Print Server Service を再起動してください。

◆ 濃度調整中にトナー交換のメッセージが表示された場合、対象となるトナー交換を実施してください。その場合、トナー交換位置が対象トナー色と異なる場所で停止していることがありますので、ご注意ください。また、トナー残量が少ないときに濃度調整を実行すると、トナー交換のメッセージが表示されることがあります。その場合は適切な濃度調整を行うためにトナーを交換してください。
濃度調整機能はキャリブレーション時に働く機能ですが、必ずしも毎回キャリブレーション時に働く機能ではありません。

◆ 何らかの理由で、Fuji Xerox Print Server Service のサービスをいったん停止したあとに再起動する場合は、次の手順で操作してください。

① [マイコンピュータ]>[コントロールパネル]>[管理ツール]>[サービス]の順に開きます。
② [Fuji Xerox Print Server Service]を選択し、操作メニューから[停止]を選択して、Fuji Xerox Print Server Service を停止します。
③ 手順②と同様に、[Wold Wide Web Publishing Service]を停止します。
④ [Fuji Xerox Print Server Service]を開始します。
⑤ [Wold Wide Web Publishing Service]を開始します。
[Fuji Xerox Print Server Service]だけを開始した場合は、クライアントで WebManager にアクセスすると「サーバーの設定が正しくありません」というメッセージが表示されることがあります。

◆ アプリケーションによっては、プリントオプションが正しく Print Server Series に伝わらない場合があります。その場合は下記のファイルを変更後、Print Server Series を再起動してから、再プリントしてください。
D:\Fuji Xerox\Print Server Series\bin\FX_RIP.ini

PreparseLengthMin=1024
PreparseLengthMax=5120

上記の PreparseLengthMax の値を大きくしてください。大きくし過ぎると、RIP 処理の開始が遅くなるのでご注意ください（単位は Byte です）。

2-2　ServerManager および WebManager 共通

◆ ServerManager および WebManager で設定する、プリント時のオプション、または[プリントオプションの初期設定]の[用紙サイズの変更]で、[カスタムサイズ]を選択していない場合は、[カスタムサイズ]がグレー表示になり入力できません。ただし、Netscape Communicator 4.75 以前では、[カスタムサイズ]がグレー表示にならず、入力終了後に値の無効を伝えるダイアログボックスが表示されます。

2-3　ServerManager

◆ NetWare(Pserver)で使用する場合、現在のバージョンでは、Bindery モードと NDS モードを合わせて１つしかサポートしていません。ただし、設定は複数できてしまいます。

◆ 何らかの理由により NetWare サーバーとの接続が切れた場合は、Print Server Service を再起動してください。

◆ NetWare サーバーを再起動した場合は、Print Server Service も再起動してください。

◆ Print Server ServiceのネットワークプロトコルをIPX/SPXのみにすると、NetWareサーバーと接続できなくなる場合があります。Print Server Serviceのネットワークプロトコルは、変更しないようにご注意ください。

◆ ServerManagerのネットワーク状態ウィンドウで、「NetWare」が受信待ちにならない場合は、Print Server Serviceを再起動してください。

◆ Print Server Serviceの状態が正常でも、NetWareサーバーで状態を確認すると、常に「Down」の状態で表示されます。

◆ [プリントオプションの初期設定]の[強制上書き]を使うと、他のプリントオプション機能との組み合わせによって、設定はできても、プリントを指示するとエラーメッセージが表示され、プリントができない場合があります。

◆ [プリントオプションの初期設定]の[用紙トレイ]に[自動選択]以外のトレイを指定すると、すべてのジョブは指定したトレイからプリントされます。

◆ Windows のプリントオプションで[印刷処理が速くなるよう最適化]を適用した場合に、ServerManager の[サーバーの環境設定]＞[プリントジョブの設定]ダイアログボックスで[ページ指定のプリントを高速化]を指定すると、PostScript エラーの発生を防ぐため、高速化の指定が無効になります。[ページ指定のプリントを高速化]を有効にしたい場合は、[エラーが軽減するよう最適化-ADSC]を選択してください。

◆ Windows 2000 ServicePack 2 以前のクライアントからの lpr のプリントジョブを Print Server Service で受信すると、ServerManager に表示されるジョブファイル名は、プリンターオブジェクト名とジョブ番号になります。その場合は、Windows 2000 に ServicePack 3以降を適用してください。

◆ FTP の作業用フォルダーの場所を変更すると、変更前のフォルダーは元の場所に残ります。変更前のフォルダーは、手動で削除してください。

◆ IISが停止/一時停止している場合、またはIISの[既存のFTPサイト]が停止/一時停止している場合でも、ServerManagerでFTP受信の設定はできます。この場合、FTPによる受信プリントはできませんが、Print Server Serviceでの、FTPフォルダーへのファイルコピー操作などによるプリントはできます。

◆ ICC プロファイルから DocuPrint CG835 II用のプロファイルに変換する場合、ICC プロファイルの作成の仕方によっては狙いどおりの色味にならないことがあります。

◆ ICC プロファイルを埋め込んでプリントできるアプリケーションがありますが、狙いどおりの色味にならないことがあります。

◆ 新たにDocuPrint CG835 II用のプロファイルを作成する場合、用紙やインクの特性、またはターゲットの印刷物の退色（経時変化）や環境変化によって、狙いどおりの色味にならないことがあります。

◆ キャリブレーション作業を実施していると、作業時間によってはプリンターが節電モードに移行して、確認シートの出力に時間がかかる場合があります。この場合は、キャリブレーション作業の実施前に、節電モードへの移行時間を長めに設定するか、節電モードに移行しないよう設定変更してください。なお、キャリブレーション作業終了後は、節電モードの設定を元に戻してください。

◆ コントローラボードエラーでプリントジョブがエラー終了した場合は、Print Server Service とプリンターを再起動してください。

◆ 何らかの状況でPrint Server Serviceがプリントできない状態であっても、マシン状態ウィンドウの[マシン1]には「プリントできます」が表示されます。マシン状態ウィンドウの[マシン1]に表示される状態は、プリンター本体のみの状態を示します。

◆ Print Server Series のプリンターを SMB 共有してプリントした場合、クライアント側でログインしているユーザー名が、Print Server ServiceのWindowsのユーザーとして登録されていない場合、Print Server Service側では所有者に「Guest」が表示されます。

- ◆ Print Server Service が受信したクライアントからのメールに、添付ファイルが多数あると、受信状況のステータスが正しく表示されない場合があります。また、プリント中のものがあっても、プリント済みと表示されます。

- ◆ EPS ファイルを添付したメールを受信した場合、正しくプリントできないことがあります。その場合は、EPS を扱えるアプリケーションからプリントするか、FTP プリントなどを使用してください。

- ◆ Eudora は、Print Server Series で受信可能なメールソフトとしてサポートしていません。

- ◆ ジョブ連結されたジョブをプリントすると、そのプレビュー画像は削除されます。

- ◆ Print Server Service が受信したメールの、添付ファイル名が 2 バイト文字の場合、本文プリントでの添付ファイル名が文字化けすることがあります。

- ◆ Print Server Service が受信したメールの、添付ファイル名に「#」が含まれている場合、プリントされないことがあります。

- ◆ Adobe Acrobat からプリントするときに、プリントオプションに「用紙サイズにあわせてページを縮小」、または「用紙サイズに合わせてページを拡大」を指定すると、ServerManager のジョブ編集で、「用紙サイズに合わせる」のチェックを外しても、プリントされる用紙サイズに合わせてイメージが拡大/縮小されます。

- ◆ メールプリントで A4 サイズの TIFF ファイルをプリントすると、A4 用紙にはプリントせず、A4 より大きいサイズ、たとえば B4、A3 用紙にプリントします。これは、A4 サイズの TIFF ファイルを印字欠けせずにプリントできる用紙サイズを選択するためです。

- ◆ ジョブ連結されたジョブのプリント時に、途中で用紙切れなどでジョブがエラーになった場合、［続きをプリント］を実行してもエラージョブしかプリントされません。その場合は、再度［ジョブ連結の印刷］を実行してください。

- ◆ ボックス保存をするとき、ジョブ名に“［”または“］”を含むジョブがボックス内にあるとエラーになります。ジョブ名には、“［”および“］”を使用しないでください。

- ◆ 1 台のクライアント PC に、DocuColor 5065 P/4055 P 対応 Print Server Series の ServerManager と、DocuPrint CG835 IIの ServerManager をインストールすると、DocuPrint CG835 IIの ServerManager の［ファイル］メニューに DocuColor 5065 P/4055 P 対応の接続先が表示されますが、選択してもエラーメッセージが表示され接続できません。

- ◆ Fetch などの FTP ソフトウエアを使用して、PASV モードで Print Server Service に接続すると、接続に時間がかかります。

- ◆ ファイル名に日本語を含むファイルを添付したメールを Print Server Service で受信すると、ファイル名が文字化けする場合があります。

2-4 WebManager

- ◆ 一度に開くことができる WebManager の画面数は、ひとつだけです。複数の保持ジョブ画面を開いてジョブを編集しようとすると、「ジョブを１つだけ選択してください」と表示され、ジョブ編集ウィンドウが開かない場合があります。

- ◆ WebManager のプリントキューに多数のジョブがある場合、ジョブの表示に時間がかかる場合があります。

- ◆ WebManager からアップロードするファイルに、TIFF、JPEG、SunRaster、または XWD のファイルを選択した場合、［オーバープリント警告］および［ヘアライン警告］の設定ができますが、ジョブを Print Server Series に送信するとエラーメッセージが表示され、プリントはできません。

- ◆ WebManager を使用してクライアントソフトウエアをダウンロードするときは、ブラウザーでプロキシサーバーを経由しないように設定してください。プロキシサーバーを経由するように設定すると、古いバージョンのソフトウエアがダウンロードされる場合があります。

◆ Internet Explorer 5.5 でプリント履歴を保存すると、プリント履歴データがテキスト形式で表示されます。この場合は、表示されたすべてのテキストデータをマウスで選択し、メモ帳(notepad)にコピー&ペーストしてください。このとき、メモ帳のファイル名に制限はありません。

◆ Macintosh の Internet Explorer 4.5 から WebManager を使って削除したジョブは、[自動更新を行う]を設定していても、[更新]をクリックするまでキュー内に表示されます。これは Internet Explorer 4.5 のキャッシュ機能によるものです。

◆ Macintosh の Internet Explorer 4.5 から、[プリファレンス]の[環境設定]で[自動更新間隔]を設定したときに作成される Cookie は、大文字と小文字を判別しません。複数の同一 Cookie が作成されたことによって、設定が正しく反映されない場合は、Internet Explorer 4.5 の[初期設定]>[受信ファイル]>[Cookie]で、WebManager の Cookie を削除してから、[自動更新間隔]を設定し直してください。

◆ Macintosh の Netscape Communicator 4.5 では、ジョブ情報の画面を下方向へスクロールできません。これは、Netscape Communicator 4.5 の制限事項です。

◆ Mac OS X の Internet Explorer 5.11 では、WebManager ウィンドウの右側フレームを下方向へスクロールできない場合があります。

◆ WebManager からアップロード印刷する場合に、「Content-Type が正しくありません。このプラウザではアップロードできません」というメッセージが表示され、アップロード印刷の画面が正しく表示されない場合があります。その場合は、ブラウザーを再起動してください。

◆ NetScape Communicator 6.0 よりも前のバージョンの NetScape Communicator では、WebManager のアップロード画面で［ファイル中の設定またはサーバーの設定を使う］をチェックしても、使用できないプリントオプションが、設定できない状態（グレー表示）になりません。設定できない状態（グレー表示）になるはずの項目を指定しても、プリント時には無視されます。
これは、NetScape Communicator 6.0 よりも前のバージョンの NetScape Communicator 共通の制限事項です。

◆ ブラウザーの［戻る］をクリックして、前の画面に戻ると、前の画面で設定していた項目が設定されていない状態に戻る場合があります。

◆ Macintosh の Internet Explorer 5.0 では、WebManager のダウンロード画面の左フレームに表示される、Macintosh (Mac OS X)、 Macintosh (PowerMac)を選択しても、右フレームの表示は先頭までスクロールしてしまいます。これは、Macintosh 版の Internet Explorer 5.0 の制限事項です。

◆ 複数のクライアントから同時に WebManager を使用し Print Server Series に接続すると、一部のフレームが正しく表示されない場合があります。これは同時接続数の制約によるもので、そのような場合は少し待ってから再度アクセスしてください。

◆ Macintosh の Netscape 7.02 で、スキャンボックス、プレビューボックスのファイルをダウンロードすると、保存先のファイル名が正しく設定されない場合があります。

2-5　プリントについて

■ Macintosh および Windows 共通

◆ プリンター本体の電源を切ってから再度入れる場合は、5 秒以上の間隔を空けてください。

◆ プリントオプションの[TIFF ファイルで保存]を選択して作成したファイルを、プリントしないでください。プリントした場合は、保証の範囲外になります。

◆ プリントオプションの[TIFF ファイルで保存]を選択し、かつプリンターモードで[スクリーン]を選択した場合、作成したファイルを Photoshop で開くと、正しく表示されない場合があります。

◆ プリントオプションの[用紙サイズに合わせる]を選択してドキュメントを縮小してプリントすると、ドキュメントの余白部分にあるデータが正しくプリントされない場合があります。

◆ プリントオプションの[K オーバープリント]を選択して黒色(100%)を含む QuickDraw パターンをプリントすると、エラーになります。その場合は、[K オーバープリント]を「オフ」にしてプリントしてください。

◆ [差込印刷]－[フォームとして登録]を指定するとき、プリントはしないでフォームの登録だけをしたい場合は、[スプールオプション]で[プリントせずに保存する]を選択してください。

◆ プリンタードライバーのプリントオプションに、メモ書きのコメントを入力する欄が表示されない場合は、コメントの機能を利用できません。この場合は、ServerManager、WebManager、または DropPrint2 から、コメントを設定してください。

◆ [メモ書き]－[カスタム]を指定した場合、印刷の向きに関わらず、日付と番号は横向きにした用紙の左下角の位置にプリントされます。この位置は、プリンターの特性を考慮して設定されているので、変更はできません。

◆ PageMaker から、[カラー]をクリックして表示される[プリント－カラー]ダイアログボックスで[カラー]を選択しても、ServerManager の[プリントオプションの初期設定]のカラーモードで[グレースケール]を選択していると、グレースケールでプリントされます。この場合は、PageMaker のプリントダイアログボックスで[プリンタ特性]をクリックして、表示される[プリント－特性]ダイアログボックスの[カラーモード]で[カラー(CMYK)]を選択してください。

◆ PageMaker から、[後ろのページから]を選択して両面印刷をすると、正しい順序でプリントされません。両面印刷をする場合は、[後ろのページから]を選択しないでください。

◆ PageMaker からプリントする場合は、プリントダイアログボックスで PageMaker 用 PPD を選択してください。PageMaker 用 PPD を選択しないと、プリントオプションが正しく動作しない場合があります。

◆ PageMaker 用 PPD を使って Quark XPress 3.3 からプリントすると、エラーメッセージが表示されプリントできません。標準の PPD を使ってプリントしてください。

◆ PageMaker からカスタムサイズのジョブをプリントする場合は、ServerManager の[ジョブ編集]で、使用する給紙トレイを選択してください。ServerManager の[ジョブ編集]で給紙トレイを選択せずにプリントすると、エラーが発生する場合があります。

◆ Illustrator 9.0 で RGB カラーを適用した EPS ファイルを、RGB カラー出力がサポートされていないアプリケーションからプリントする場合は、［CYMK ポストスクリプト］オプションを「オン」にしてください。［CYMK ポストスクリプト］オプションを「オフ」にすると、正しくプリントされないことがあります。

◆ Illustrator 8.0 を使って、オブジェクトに[塗りにオーバープリント]を設定し PDF ファイルで保存すると、白色に対してもオーバープリントが適用されます。これは Illustrator 8.0 の仕様です。

◆ Illustrator 10 では、「部単位で印刷」、「最終ページから印刷」、「両面」を指定しても、正しくプリントされません。これは Illustrator 10 の制限事項です。

◆ Illustrator 10 で、2UP/４UP などのページレイアウトを指定してプリントすると、縮小されずにプリントされるため、正しくプリントできない場合があります。これは Illustrator 10 の制限事項です。

◆ Photoshop 7 で、2UP/４UP などのページレイアウトを指定してプリントすると、縮小されずにプリントされるため、正しくプリントできない場合があります。これは Photoshop 7 の制限事項です。

◆ Photoshop からの分版出力ジョブを、[色分版の合成]－[自動]で自動合成することはできません。分版を合成する場合は、「Illustrator Style」を使用してください。

◆ アプリケーションから PDF ファイルを出力し、Acrobat Reader からプリントすると、プリント結果がディスプレイの表示と異なる場合があります。なお、Acrobat Distiller で作成した PDF ファイルは、正しくプリントされます。

◆ PowerPoint で、横長のスライドを、用紙サイズで封筒サイズ（洋形 2 号、3 号、4 号、洋長 3 号）を指定してプリントすると、正しくプリントできない場合があります。

◆ プリントオプションで、[両面印刷]と[最終ページから印刷]を指定した場合、[最終ページから印刷]の指定は無効になります。

◆ プリントオプションの［K オーバープリント］、［RGB 黒を K に置換］、［RGB グレーを K に置換］、［ヘアライン警告］は、フォントや線などに有効であり、イメージには無効です。

◆ PageMaker は、線幅の指定をデバイスの 1 ピクセル幅単位にまるめて出力するので、600dpi のプリンターに対しては 0.12pt よりも細い線を出力しません。このため、PageMaker で作成した描画オブジェクトには、ヘアライン警告機能が正しく適用されません。なお、PageMaker に割り付けた EPS ファイルに含まれる細線には、正しく適用されます。

◆ 線ではなく四角オブジェクトを作って塗りをしたものには、ヘアライン警告機能は無効です。

◆ Illustrator などで作成した EPS ファイルを縮小して割り付けた場合、縮小後の線幅もヘアライン警告で検出できます。

◆ InDesign 1.0/2.0 で、鉛筆ツールや楕円形ツールで描いた曲線に、グラデーションで塗りを指定したオブジェクトは、ヘアライン警告で検出できません。

◆ プリントオプションの［オーバープリント警告］は、アプリケーションからコンポジット出力を設定した場合にだけ有効です。

◆ Illustrator 9.0/10.0 は、オーバープリントをシミュレーションして出力するので、プリントオプションの［オーバープリント警告］は、働きません。

◆ QuarkXPress3.3J で、プリンターの設定ファイルとして PPD ファイルを使用しているときには、オーバープリント警告機能は働きません。プリンターの設定ファイルには、PDF ファイル（QuarkXPress3.3 用のプリンター設定ファイル）を指定してください。

◆ PDF ダイレクトプリントで、文字抜けするような場合は、Acrobat Reader からプリントしてください。

◆ 小冊子作成機能を利用した場合、使用する用紙のサイズによっては、ポイントとピクセルの変換誤差により、わずかに用紙中央部分の画像が欠けることがあります。

◆ Windows 2000 の PageMaker でプリントすると、Print Server Service で使用可能な和文フォントが白抜きでプリントされる場合があります。その場合は、Windows 2000 に、ServicePack 3 以降を適用してください。

◆ 原稿がグレースケールドキュメントでも、RGB/CMYK/コンポジット特色補正などで色補正し、プリントするとカラーでプリントされることがあります。

◆ RGB グレードキュメントを[RGB グレーを K に置換]を「オフ」にして、色補正なしでプリントすると白黒でプリントされます。なお、グレースケールドキュメントで色補正なしでも、アプリケーションからトンボなどを付けてプリントするとカラーでプリントされます。また、プリントオプション[メモ書き]－[カラーパッチ]を指定した場合はカラーでプリントされます。

◆ 色補正プロファイル(ICC プロファイルなど)を含んだグレースケールドキュメントを、[RGB グレーを K に置換]を「オフ」にして、「色補正なし」でプリントした場合、カラーでプリントされることがあります。

◆ Adobe Reader/Adobe Acrobat からカタログ印刷を指定しプリントすると、正しくプリントされない場合があります。DropPrint2/WebManager などを使用してカタログ印刷を行ってください。

◆ アプリケーションによっては(たとえば AdobeReader7 など)部数を指定すると、部数 x ページ数分を 1 ジョブとしてプリンターに送るものがあります。そのため小冊子作成で、予想している小冊子を作成できない場合があります。その場合は、アプリケーションからは 1 部で Print Server Service に送り、ServerManager のジョブ編集で部数を指定してください。

◆ PageMaker からカスタムサイズの用紙を指定した場合、トレイ指定は無効になります。ServerManager のジョブ編集などで指定してください。

◆ グラデーションが滑らかに出力されない場合は、プリントオプションの[Image Enhancement]を「オフ」にしてください。

◆ メールプリントの本文プリントで、日本語を含むメールヘッダーが正しくプリントされない(正しくデコードされない)場合があります。

◆ 出力画像中の DeviceN で設定されたオブジェクトが、正しくプリントされない場合があります。

◆ Print Server Service でサポートしているフォーマット以外のファイルを、FTP プリント/DropPrint2/WebManager などでプリントした場合、白紙とエラーシートが出力されます。白紙とエラーシートを出力したくない場合は、ServerManager の［サーバーの環境設定］→［プリントジョブの設定］を選択し、［PostScript エラー］を［ジョブを停止する］に設定してください。

■ Macintosh

◆ Macintosh からプリントする場合、使用するアプリケーションのメモリー使用サイズが 900 キロバイト以下に設定されていると、プリントできないことがあります。使用するアプリケーションのメモリー使用サイズは、900 キロバイト以上に設定してください。

◆ Macintosh の AdobePS 8.6 では、給紙方法として「1 枚目」と「残りのページ」の 2 とおりがあります。どちらを選択しても、「1 枚目」で指定したトレイから給紙されます。

◆ Quark XPress 3.x 用に PDF ファイルを提供しています。
この PDF ファイルは、同梱の CD-ROM および WebManager から入手できます。
インストールの手順は、次のとおりです。

① WebManager からダウンロードする場合は、WebManager の[ダウンロード]タブにある、該当する OS の「プリンタドライバプラグイン」をクリックして、インストーラーをダウンロードします。
② 「AdobePSPlugIn_Installer.hqx」をダブルクリックして、PDF をインストールします。
③ クライアントの[Print Server Series]内の[Printer Driver]にある次の PDF ファイルを、Quark XPress 3.x 用のインストールディレクトリ\PDF にコピーします。

◆ PageMaker からプリントする場合は、セレクタで DocuPrint CG835 II用の PageMaker 用 PPD を選択したプリンターを使用してください。また、PageMaker のプリントダイアログボックスでも、DocuPrint CG835 II用の PageMaker 用 PPD を選択してください。プリンターとプリントダイアログボックスの両方で DocuPrint CG835 II用の PageMaker 用 PPD を選択しないと、プリントオプションが正しく動作しない場合があります。

◆ グレースケールの EPS 画像をファイルに貼り付けて、InDesign から分版印刷する場合は、Photoshop などで [ポストスクリプトカラー管理]を「オフ」にして EPS 形式で保存した画像を使ってください。[ポストスクリプトカラー管理]が「オン」に設定されている EPS ファイルを使うと、正しく分版印刷されない場合があります。

◆ Mac OS X では、用紙サイズにカスタム用紙サイズを選択した場合、正しくプリントできない場合があります。

◆ 用紙選択画面で用紙サイズが B5 は B5(JIS)、B4 は B4(JIS)、8.5x11 はレター、8.5x14 はリーガルと表示されます。

◆ Mac OS X 10.2.x で、プリセット機能を使用する場合は、[プリセット]を選択し印刷を行ってください。ただし、プリセットされている内容は、画面上には反映されません。また、一度[プリンタの機能]を開くと、プリセットされていた内容が失われます。

◆ OS が Mac OS 9.2.2、プリンタードライバーが AdobePS 8.8 で、Illustrator 10 の書類設定>アートボードで設定している用紙サイズと、プリンタードライバーで設定している用紙サイズが異なる場合、その Illustrator ファイルを再度開くと、プリンタードライバーで設定している用紙サイズが、「その他」に変更されてしまう場合があります。また、書類設定>アートボードと、プリンタードライバーで設定している用紙サイズが同じ場合でも、プリンタードライバーで設定している用紙サイズが、「その他」に変更されてしまう場合があります。

◆ Mac OS X 10.2.xでは、[プリンタの機能]を開いたあと、他の設定項目（[一覧]など）を開き、 [プリンタの機能]に戻るとプリントオプションを選択できません。設定を変更する場合は、 一度プリントダイアログをキャンセルしてから行ってください。

◆ Mac OS X 10.2.x からプリントすると、ServerManager 上で表示されるジョブ名と所有者名が文字化けする場合があります。

◆ Mac OS X 10.2.1 で Photoshop 7.0 から複数部数を指定しプリントすると、指定した部数の二乗が出力される場合があります。Mac OS X 10.2.2 以降では正常に出力されます。

◆ 分版出力を行おうとすると、「指定したプリンタの PPD ファイルは、色分解ダイアログボックスで使用している PPD ファイルとは異なります。アートワークの一部がプリントされなかったり、プリントが適切に行われない場合があります。」と表示される場合がありますが、そのまま印刷を続けてください。

◆ Macintosh にインストールされているフォントと印刷ドキュメントで使用しているフォントの組み合わせによっては、PostScript エラーが発生する場合があります。

◆ FreeHand 10J から OpenType フォントで入力されたテキストを含むドキュメントをプリントすると、PostScript エラーが発生する場合があります。

◆ アプリケーションの用紙設定でプリンターを選択すると PPD ファイル名が表示されますが、途中までしか表示されません。

◆ アプリケーションによっては RGB 画像に対して、[RGB 色補正]が[しない]の設定でも、[RGB 出力インテント]の設定が反映される場合があります。

◆ Illustrator 10 で、プリントオプションに「レイアウト」指定、「丁合い」指定、「最終ページから印刷」を指定した場合、正しく出力されない場合があります。

◆ InDesign 2.0 で、プリントオプションに「レイアウト」を指定した場合、正しく出力されないことがあります。

◆ InDesign 2.0 で、プリントオプションに「レイアウト」を指定、または「拡大」を指定した場合に、「ヘアライン警告」を指定すると、警告対象でない部分を警告したり、画像の一部が消えたりすることがあります。

◆ FreeHand 10J で、プリントオプションに「レイアウト」指定、「拡大縮小」指定した場合、偶数ページのみがプリントされたり、1 枚に全ページが重なってプリントされるため、正しくプリントできないことがあります。これは FreeHand 10 の制限事項です。

◆ Excel X で、プリントオプションに「レイアウト」指定と「ヘアライン警告」を同時に指定した場合、正しく出力されない場合があります。

◆ Mac OS X 10.2.x で Excel からプリントする場合、「印刷部数」指定が反映されない場合があります。ページ設定にてオプション設定終了後、OK ボタンを押してからプリントすると指定が効きます。

◆ PowerPoint で、プリントオプションに「用紙サイズに合わせる」を指定すると、画像が切れたり、印字サイズが変わる場合があります。

◆ OS が Mac OS 9.2.2、プリンタードライバーが AdobePS 8.7.2 で、Acrobat 5.0 の印刷ダイアログでは、正しく表示されません。

◆ Macintosh の QuarkXPress や PageMaker など、PostScript コードを独自に生成するアプリケーションで、プリントオプション設定画面で設定した値は、[キャンセル]ボタンで設定画面を閉じても、次回プリント時に設定値として使用されます。また、異なるアプリケーション間でも、この設定値は使用されます。[プリント]ボタンでプリントオプション設定画面を閉じると設定が正しく反映されます。

◆ Macintosh の FreeHand 10J からプリントした場合、Print Server Series 側でジョブの名前が正しく表示されない場合があります。

◆ Mac OS X 10.2.x では、同時に設定できないプリントオプションを指定して Print Server Series に送られたジョブは、RIP エラーで終了します。その場合は、プリントオプションを変更してプリントし直してください。

◆ Mac OS X 10.4.1 から StatusMonitor で PrintServer に接続中に、Print Server Series 側をシャットダウン、または再起動するとクライアントがハングする場合があります。Mac OS X 10.4.2 にアップデートしてください。

◆ Macintosh(Classic モード)で PageMaker を使用する場合はプリンタードライバーに LaserWriter を使用してください。AdobePS ドライバーを使用するとプリンター時の設定表示は OFF でも、前回の出力時の設定が効いて出力される場合があります。

◆ Mac OS X 10.3 で Adobe Reader 6.0 からプリントする場合、小冊子作成で複数部数を指定すると、正しくプリントされません。
小冊子作成をする場合は、部数に 1 部を指定して、プリントオプションのスプールオプションで［プリントせずに保存］を指定して、Print Server Service にジョブを送信します。そして、受信したジョブを ServerManager のジョブ編集で、部数を変更してプリントします。
または、部数に 1 部を指定して、［出力オプション］の［ファイルとして保存］で［PostScript］を指定し、PostScript ファイルとして保存します。そして DropPrint2 で部数を指定して、プリントします。

◆ Mac OS X の Classic 環境から両面印刷をする場合、AdobePS ドライバーの［レイアウト］タブの［両面に印刷］を使用すると正しくプリントできません。両面印刷をする場合は、［Print Server Series］タブの［詳細設定］ボタンをクリックし、［排出/用紙種類］タブ内の［両面印刷］を指定してください。

◆ Mac OS 9 の InDesign で、OS のプリンターダイアログボックスを一度も開かずにプリントすると、以前に保持したジョブのプリントオプションが反映されます。これは、アプリケーションおよび OS の制限事項です。

◆ Bonjour プリンターで、ファイル名に日本語を含むファイルを印刷すると、ジョブ情報中のファイル名が文字化けします。

■ Windows

◆ Windows からのプリントジョブのプリフライトレポートを作成すると、次のような PostScript メッセージが表示されますが、これはエラーメッセージではありません。

```
*** PostScript メッセージ ***
%% [ ProductName：Print Server Series］%%
%% ［Page：1］ %%
%% ［Page：2］ %%
%% ［Page：3］ %%
%% ［LastPage］ %%
```

◆ Windows 95/98/Me からユーザー定義サイズを使用してプリントする場合は、余白に 3.9mm 以上の値を、設定してください。

◆ Acrobat Reader 3.0J から、プリントオプションで N アップと複数部数を指定すると、レイアウト枠だけがプリントされます。

◆ Acrobat Reader 3.0J/4.0 から、プリントオプションで[プリント後保存]を選択しても、ドキュメントがスプールに保存されないことがあります。

◆ Acrobat Reader 5.0 からは、PostScript オプションの[ミラーイメージ印刷]が適用されない場合があります。

◆ FreeHand 9.0J から、3 ページの文書にプリントオプションで 4 アップを指定すると、全ページとも標準レイアウトでプリントされる場合があります。

◆ Quark XPress 4.1 から、3 ページの文書にプリントオプションで 4 アップを指定すると、3 ページめだけがプリントされる場合があります。

◆ Quark XPress 4.0 は、オブジェクトの線幅を 0pt に設定するとヘアライン機能が適用され、自動的に線幅が設定されます。このときに設定された線幅が、プリントオプションで指定したヘアライン警告幅よりも太い場合、Print Server Series では警告されません。

◆ PowerPoint 97 から、[スライドに枠をつけて印刷する]を設定してカスタムサイズの用紙を選択すると、枠の上部がプリントされません。この場合は、ユーザー定義サイズで余白の[下]を 3.9㎜ に設定してください。

◆ Windows 95/98/Me 版の Designer から、SEF 用紙にプリントするときに[長辺とじ]を指定すると、短辺とじでプリントされます。また LEF 用紙にプリントするときに[短辺とじ]を指定すると、長辺とじでプリントされます。

◆ Windows Me 版の Word 2000 から N UP を指定してプリントした場合、白紙が出力されます。これは Word 2000 の制限事項です。

◆ Windows NT 4.0 版の Word 2002 から、プリントオプションで 2 アップを指定すると、全ページとも標準レイアウトでプリントされる場合があります。

◆ Windows NT 4.0 版の FreeHand　8.0J から、プリントオプションで[プリント後保存]を選択しても、ドキュメントがスプールに保存されないことがあります。

◆ Windows NT 4.0 版の FreeHand　8.0J では、[プリンタの機能]の設定が保持されない場合があります。なお、FreeHand 9.0J では、設定が保持されます。

◆ Windows NT 4.0 では、プリンタードライバーのパス名が長い場合、インストーラーを起動することができない場合があります。この場合は、パス名を短くしてインストーラーを起動してください。

◆ Windows NT 4.0 では、LPR ポートを使用して作成したプリンターのプロパティ画面で、「プリンタに直接データを送る」を指定した場合、「XXX への書きこみエラー：予期しないネットワークエラー・・・」エラーになり、プリントできません。

◆ Windows NT 4.0 版の InDesign 2.0 では一度設定しプリントした用紙サイズが保存されません。このため、再度プリントする場合は、用紙サイズの設定を確認してください。これは InDesign 2.0 の制限事項です。

◆ Windows 2000 のプリンタードライバープラグインを使用して、[TIFF ファイルで保存]を選択し TIFF ファイルを作成すると、解像度が指定した値でなく、600dpi になる場合があります。

◆ Windows 2000 のプリンタードライバープラグインを使用して Internet Explorer 5.0 からプリントする場合、プリントオプションの設定が正しく反映されないことがあります。ワードパッドやメモ帳でも、同じ問題が発生することがあります。この場合は、レイアウトタブを表示してからプリントしてください。

◆ Windows 2000 から Standard TCP/IP Port を使用すると、プリントに時間がかかることがあります。その場合には、Windows 2000 クライアントに UNIX 用印刷サービスをインストールし、LPR Port を使用してプリントしてください。

◆ Windows 2000 版の PageMaker 6.5 から、プリントオプションのスプールオプションで[プリントせずに保存]した場合、ServerManager のジョブリストにジョブ名がフルパスで表示されます。

◆ Windows 2000/XP で IPP プリンターを作成する場合、パスワード入力が必要な場合があります。この場合、パスワード入力ダイアログボックスの[キャンセル]をクリックしてください。[キャンセル]をクリックしても、プリンターは作成されます。

◆ Windows の Internet Explorer 6 で、2UP/４UP などのページレイアウトを指定してプリントすると、正しくプリントできない場合があります。これは Internet Explorer 6 の制限事項です。

- Windows の QuarkXPress 4.1 で、2UP/４UP などのページレイアウトを指定してプリントすると、正しくプリントできない場合があります。これは QuarkXPress 4.1 の制限事項です。

- Windows 95/98/Me でプリントオプションに多くの設定をした場合、「画質」タブ、「ユーザー情報」タブの一部の設定が反映されない場合があります。

- Windows 版の InDesign または Illustrator で、プリンターに Print Server Series のプリンターを指定しても、プリンターフォントを画面上で使用することはできません。これはアプリケーションの制限事項です。

- Acrobat 5.0、および Acrabat Reader 5.0 で、[印刷]ダイアログボックスで表示される [PostScript オプション]の[2 バイトフォントのダウンロード]と、Print Server Series のプリントオプションの[トラッピングの自動処理]を同時に選択すると、正しくプリントできない場合があります。これはアプリケーションの制限事項です。

2-6 DropPrint2

- Mac OS X から DropPrint2 を使ってプリントした場合、[所有者]には、Classic モードのファイル共有コントロールパネルで設定したユーザー名が表示されます。

- Windows XP に DropPrint2 をインストールする場合は、Administrator 権限を持つユーザーで実行してください。Administrator 権限を持たないユーザーでインストールした場合、正しくインストールされません。

- DropPrint2 で、Illustrator のファイルを印刷できる場合がありますが、サポートしていません。

- Windows XP x64 では、DropPrint2 で「設定ファイルの作成」で作成したアイコン上に、ファイルをドラッグ&ドロップしても送信されません。

2-7 スキャナー

- e.Typist では、200、300、および 400dpi の解像度しかスキャンできません。これは、e.Typist の制限事項です。

- DocuWorks Ver. 3.1 では、スキャンした画像が 50MB 以上の場合はエラーで終了します。これは、DocuWorks Ver. 3.1 の制限事項です。

- 読ん de!!ココでは、解像度に 50～800 dpi を指定してください。それ以外を指定した場合、アラート画面が表示され正しくスキャンできません。これは、読ん de!!ココの制限事項です。

- 読ん de!!ココを使用して原稿送り装置からスキャンすると、最初の１ページめしか保存されません。これは、読ん de!!ココの制限事項です。

- スキャナープアリケーションを起動中に、Windows の画面プロパティで[フォントサイズ]を[大きいフォント]に変更すると、スキャナーアプリケーションのメニューが正しく表示されないことがあります。この場合は、アプリケーションを再起動してください。

- Print Server Series でスキャンする場合、「原稿ガラス」と「原稿送り装置」を切り替えると、スキャンの「範囲」は切り替えた方で設定していた値に変わります。

2-7 フォントについて

- フォントワークス社製品のフォントをインストールする場合、2 回めからはインストール先が disk0 に固定され、プリンターの選択ができません。これは、フォントワークス社のインストーラーの制限事項です。

- エヌフォー社製品のフォントをインストールする場合は、エヌフォー社提供のインストーラーver.2.1 を使用してください。

◆ 字識人JTCウインM1をフォントインストールし、フォントの更新をするとエラーシートが出力されますが、このフォントを使用してのプリントには問題ありません。

◆ MORISAWA新正楷書体 CBSK1をインストール済みの環境で、このフォントを使用しプリントする場合はフォアグランドで印刷するか、「ダウンロード可能フォントの制限なし」をチェックしてプリントしてください。

◆ Mac OS 8.5 ～9.xで、モリサワ社の New CIDフォントを使用すると、フォントが LaserWriterドライバーからプリンターに正しくダウンロードされずに、ビットマップフォントでプリントされる場合があります。これは、モリサワ New CIDフォントが複数のフォント名を持っているため、プリンターに誤ったフォント名が伝えられ、フォントがない扱いになってしまうからです。
この場合は、次のいずれかの対処をしてください。
  - [用紙設定]の PostScript オプションを選択し、[ダウンロード可能フォントの制限なし]を「オン」にする。
  - PDF で保存し、デスクトッププリンターにドラッグする。
  - Adobe PS ドライバーを使用する。
  - ATM フォントをインストールする。

3　RGB画像警告機能について

3-1　RGB画像について

RGB画像警告機能は、プリンターに送られてくるPostScriptコードに含まれる、RGBカラースペースのコードを検出し、その画像をマゼンタで塗りつぶし警告するものです。
アプリケーションやそのバージョンによっては、RGB画像は次の2つの出力結果となります。
① RGBデータをRGBカラースペースのまま出力するもの
② RGBデータをCMYKに変換してから出力するもの
①の場合は、オフセット印刷(分版出力)する際に、RGB 画像を K 版のみの白黒画像になるような出力を行います。
②の場合は、分版出力でも、CMYKに分版してカラー画像になるように出力します。
アプリケーションによるRGB画像の扱いの差違については、「3-2 アプリケーションによるRGB画像の扱いの違いについて」を参照してください。
RGB画像警告機能は、アプリケーションに貼り付けたRGB画像を検出するというものではなく、①の「RGBデータをRGBカラースペースのまま出力するもの」の印刷では白黒画像になってしまうというトラブルを、事前に防止/検出するための機能です。

3-2　CIE画像について

RGB画像警告機能には、CIE画像を検出する機能もあります。プリンターに送られてくるPostScriptコードに含まれる、CIEカラースペースのコードを検出し、その画像をシアンで塗りつぶし警告するものです。
Photoshop(Version 5.0以降)でポストスクリプトカラー管理をオンにして作成したCMYK画像(CIE画像にはカラープロファイルが埋め込まれています)は、コンポジット出力では埋め込まれたカラープロファイルが適用されますが、分版出力ではカラープロファイルが適用されず、色再現に差違が生じてしまう場合があります。
RGB 画像警告機能は、このようなオフセット印刷(分版出力)を行うとコンポジット出力とは異なる結果になってしまうような画像のトラブルを、事前に防止/検出するための機能です。

3-3　アプリケーションによる RGB 画像の扱いの違いについて

アプリケーションやそのバージョンによっては、RGB 画像を CMYK データに色分解する機構を内蔵し、分版出力でもカラー画像を出力できます。

アプリケーションの、RGB→CMYK 変換を正しく行うには、アプリケーションのカラー環境を正しく設定する必要があります。

代表的なアプリケーションと、そのバージョンによる RGB 画像の取り扱いの違いを次に示します。

ただし、これはアプリケーションの動作を保証するものではありません。仕様や動作の詳細に関しては、各アプリケーションメーカーにお問い合わせください。

Illustrator

	バージョン	5.5	7		8		9、10	
	RGB 画像	リンク	リンク	埋め込み	リンク	埋め込み	リンク	埋め込み
PostScript 出力	EPS	RGB	RGB	CMYK	RGB	CMYK	RGB	CMYK
	TIFF*1	-	-	-	CMYK	CMYK	CMYK	CMYK
EPS 出力	EPS	RGB	RGB	RGB	RGB	RGB	RGB	CMYK
	TIFF*1	-	-	-	RGB	RGB	CMYK	CMYK

*1： TIFF/JPEG/BITMAP/PICT/PSD

Illustrator の場合、RGB 画像ファイルの扱いは、「バージョン」、「プリント出力と EPS ファイル作成」、「リンクか埋め込みか」のそれぞれの違いで変化します。

QuarkXPress

	RGB 画像	バージョン	
		3.3	4.0、4.1
PostScript 出力	EPS	RGB	RGB
	TIFF*1	RGB	CMYK
EPS 出力	EPS	RGB	RGB
	TIFF*1	RGB	CMYK

*1： TIFF/JPEG/BITMAP/PICT

QuarkXPress は、バージョン 4.0 から、RGB 画像を CMYK に変換できる機能があります。ただし、TIFF/JPEG/BITMAP/PICT 画像フォーマットだけ CMYK に変換でき、EPS ファイルは RGB のまま処理します。

InDesign

	RGB 画像	バージョン
		1、2
PostScript 出力	EPS	RGB
	TIFF*1	CMYK/CIE*
EPS 出力	EPS	RGB
	TIFF*1	CMYK

*1： TIFF/JPEG/BITMAP/PICT/PSD

InDesign は、RGB を CMYK に変換できる機能がありますが、TIFF/JPEG/BITMAP/PICT/PSD 画像フォーマットだけ CMYK に変換でき、EPS ファイルは RGB のまま処理します。

- **CMYK/CIE と書いてある部分は、アプリケーションのカラー設定により、動作が変わります。**

FreeHand

	RGB 画像	バージョン
		8
PostScript 出力	EPS	RGB
	TIFF*1	RGB/CMYK
EPS 出力	EPS	RGB
	TIFF*1	RGB/CMYK
PostScript 分版出力	EPS	RGB
	TIFF*1	CMYK

***1： TIFF/JPEG/BITMAP/PICT**

ファイルメニューの出力オプションに、「RGB をプロセスカラーに変換」という項目があり、コンポジット出力および EPS ファイル作成時の TIFF 画像の扱いを切り替えることができます。ただし、分版出力する場合は、必ず CMYK 画像に変換して扱います。

PageMaker

	RGB 画像	バージョン	
		6.5	7.0
PostScript 出力	EPS	RGB	RGB
	TIFF など	RGB/CMYK*1	RGB/CMYK*2
EPS 出力	EPS	RGB	RGB
	TIFF など	RGB/CMYK*1	RGB/CMYK*2

***1： TIFF/JPEG/BITMAP/PICT**

***2： TIFF/JPEG/BITMAP/PICT/PSD**

PageMaker では、環境設定にある CMS 設定のカラーマネージメントを OFF/ON することで、RGB 画像を RGB 画像のまま扱うか、RGB 画像を CMYK に変換してから扱うかを選択できます。EPS ファイルは、RGB のまま扱います。